

# 福島第一原子力発電所の状況

平成 24 年 10 月 29 日  
東京電力株式会社

## < 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (10/29 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*	原子炉格納容器 水素濃度	
1号機	淡水 注入中	炉心スプレィ系：約 2.0 m <sup>3</sup> /h	31.7	106.0 kPa abs	A系： 1.55	vol %
		給水系：約 2.6 m <sup>3</sup> /h			B系： 1.55	vol %
2号機	淡水 注入中	炉心スプレィ系：約 4.4 m <sup>3</sup> /h	43.9	6.32 kPa g	A系： 0.04	vol %
		給水系：約 2.0 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.05	vol %
3号機	淡水 注入中	炉心スプレィ系：約 4.5 m <sup>3</sup> /h	44.4	0.22 kPa g	A系： 0.19	vol %
		給水系：約 1.9 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.18	vol %

\*絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

【1号機】・10/29 11:29 原子炉への注水量の低下が確認されたため、給水系からの注水量を約 2.6m<sup>3</sup>/hから約 3.0m<sup>3</sup>/hに調整、炉心スプレィ系からの注水量は約 2.0m<sup>3</sup>/hで継続。

## < 2. 使用済燃料プールの状況 > (10/29 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	22.5
2号機	循環冷却システム	運転中	22.3
3号機	循環冷却システム	運転中	20.5
4号機	循環冷却システム	運転中	29

\*各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルへヒドラジンの注入を適宜実施。

## < 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元 →	移送先	移送状況
2号機	2号機タービン建屋	→ 3号機タービン建屋	10/24 15:44 ~ 10/27 9:55 移送実施
3号機	3号機タービン建屋	→ 集中廃棄物処理施設 [ 雑固体廃棄物減容処理建屋 (高温焼却炉建屋) ]	10/26 12:18 ~ 移送実施中
4号機	4号機タービン建屋	→ 集中廃棄物処理施設 [ 雑固体廃棄物減容処理建屋 (高温焼却炉建屋) ]	10/24 16:02 ~ 10/29 14:45 移送実施

## < 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (10/29 7:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)
運転状況	停止中	運転中*	停止中	水バランスをみて 断続運転	水バランスをみて 断続運転

\*フィルタの洗浄を適宜実施。

・H23/6/8~ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

## <5. その他>

- H23/10/7～ 伐採木の自然発火防止や粉塵飛散防止のため、5, 6号機滞留水の浄化水を利用し、散水を適宜実施中。
- H24/2/23～ 6号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
- H24/3/6 ～ 5号機サブドレン水について、一時保管タンクを経由した、仮設タンクへの汲み上げ試験を実施中。
- H24/4/25～ 地下水による海洋汚染拡大防止を目的として、遮水壁の本格施工に着手。
- H24/10/23～ 1号機サブプレッションチェンバ内への窒素ガス連続封入を開始。サブプレッションチェンバ内の水素濃度を推定2%程度まで低くするために、連続封入期間は1ヶ月程度を予定。

以 上